

審査意見への対応を記載した書類（6月）

（目次） 医療技術学部 臨床検査学科

1. 養成する人材像、ディプロマ・ポリシーの内容が不明確であり、これらの妥当性を判断できず、それに伴って3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーをいう。以下同じ。）の整合性も判断できない。このため、以下の点を踏まえ、養成する人材像やカリキュラム・ポリシーを適切に改めるとともに、養成する人材像、3つのポリシーの妥当性及び整合性を明確に説明すること。

（1）「設置の趣旨等を記載した書類」において、「10. 教育研究上の目的及び養成する人材像、ディプロマ・ポリシー」との項目があるものの、養成する人材像の説明箇所が特定できないことから、明確になるよう適切に改めること。

（2）上記（1）のとおり、養成する人材像が明らかでないが、「設置の趣旨等を記載した書類」の「5. 既存の専門学校教育（3年課程）から学部教育に変更する理由」において、本研究科が育成を目指す臨床検査技師には「リーダーシップや判断力」を備える必要性を挙げているものの、養成する人材像やディプロマ・ポリシーにおいては関連する記載が見受けられず、養成する人材像及びディプロマ・ポリシーの妥当性及び整合性を判断できない。

（3）カリキュラム・ツリーについて、3つのポリシーの各項目が他の項目の全てに関連しているものとなっているため、3つのポリシーについて各項目の対応関係が明らかでなく3つのポリシーの整合性が判断できない。このため、3つのポリシーについて各項目の対応関係が明確になるよう適切に改めた上で、3つのポリシーの整合性を改めて説明すること。

（是正事項）・・ 3

2. 審査意見1のとおり、養成する人材像及び3つのポリシーの妥当性及び整合性に疑義があるため、教育課程の妥当性についても判断できない。このため、審査意見1への対応を踏まえて、本学部の教育課程が、適切なディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、修得すべき知識等に係る教育が網羅され、体系的性が担保された上で、適切に編成されていることを明確に説明すること。

（1）ディプロマ・ポリシー①において「責任感と倫理観」を掲げており、これに対応するカリキュラム・ポリシー①において「①普遍的な教養と高い責任感と倫理観を涵養するためのカリキュラムを編成し」とあるが、カリキュラムマップを見ると、全て授業科目がディプロマ・ポリシー①の関連科目とされており、ディプロマ・ポリシー①及び関連するカリキュラム・ポリシー①の達成のために、必要な教育課程が適切に編成されているかが判然としない。

（2）ディプロマ・ポリシー⑤において掲げる「⑤地域・医療福祉への貢献力」に対応する教育課程として、必修科目が1年次前期に2科目、4年次に3科目設定されている

（1）

ものの、このような授業科目の配当年次の設定により「地域・医療福祉への貢献力」を体系的に養成する教育課程となっているか疑義があることから、掲げる資質・能力を修得するため、順序性に留意した体系的かつ効果的な配当年次の設定となっていることを明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

- (3) 養成する人材像やディプロマ・ポリシー③において「コミュニケーション力」を掲げており、「DP 達成に特に重要な科目」として設定している「コミュニケーションの基礎」や「チーム医療（多職種連携）」において定期試験やレポートにより成績を評価することとしているものの、これらの成績評価方法によりディプロマ・ポリシーで掲げる「コミュニケーション力」の達成を評価できるかが判然としないことから、「コミュニケーション力」を養うという目的に照らし、その成績評価方法が妥当であることを説明するか、必要に応じて適切に改めること。

(是正事項)・・ 9

3. アドミッション・ポリシーについて、関係する審査意見への対応を踏まえて、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシー、教育課程等との整合性を担保した上で、妥当なものであることを改めて明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(是正事項)・・・ 13

4. 一般選抜試験の個別方式について「学力検査として英語のほか数学 I A または国語から 1 科目、理科（物理、化学、生物、「物理基礎, 化学基礎 , 生物基礎の 2 科目合計」から 1 科目選択）の 4 科目から 1 科目を課す方式」として実施するとの記載があるが、理科については「物理、化学、生物、「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎の 2 科目合計」から 1 科目選択」とあるため、「4 科目から 1 科目を課す」の「4 科目」がいずれの科目を意図しているものか不明確であり、入学者の能力を適切に判断できる内容となっているかが判断できない。一般選抜試験の個別方式の内容が明確になるよう適切に改めた上で、アドミッション・ポリシーと整合し、妥当であることを説明すること。(是正事項)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

5. 本学の学則において、学校教育法施行規則第 4 条第 1 項第 9 号に規定する「寄宿舎に関する事項」について記載が見受けられないことから、適切に改めること。(是正事項)

・・・ 19

6. 申請書類について、用語の混同や誤字脱字等全般的に文章の不備が散見されるので、網羅的に確認を行った上で、適切に改めること。(改善事項)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

(2)

1. 養成する人材像、ディプロマ・ポリシーの内容が不明確であり、これらの妥当性を判断できず、それに伴って3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーをいう。以下同じ。）の整合性も判断できない。このため、以下の点を踏まえ、養成する人材像やカリキュラム・ポリシーを適切に改めるとともに、養成する人材像、3つのポリシーの妥当性及び整合性を明確に説明すること。

(1) 「設置の趣旨等を記載した書類」において、「10. 教育研究上の目的及び養成する人材像、ディプロマ・ポリシー」との項目があるものの、養成する人材像の説明箇所が特定できないことから、明確になるよう適切に改めること。

(2) 上記(1)のとおり、養成する人材像が明らかでないが、「設置の趣旨等を記載した書類」の「5. 既存の専門学校教育（3年課程）から学部教育に変更する理由」において、本研究科が育成を目指す臨床検査技師には「リーダーシップや判断力」を備える必要性を挙げているものの、養成する人材像やディプロマ・ポリシーにおいては関連する記載が見受けられず、養成する人材像及びディプロマ・ポリシーの妥当性及整合性を判断できない。

(3) カリキュラム・ツリーについて、3つのポリシーの各項目が他の項目の全てに関連しているものとなっているため、3つのポリシーについて各項目の対応関係が明らかでなく3つのポリシーの整合性が判断できない。このため、3つのポリシーについて各項目の対応関係が明確になるよう適切に改めた上で、3つのポリシーの整合性を改めて説明すること。

#### (対応)

審査意見1「養成する人材像、ディプロマ・ポリシーの内容が不明確」であり、「3つのポリシーの整合性も判断できない」とのご指摘を受け、審査意見1に含まれる(1)～(3)の内容を踏まえ、養成する人材像の明確化及び3つのポリシー間の対応関係の整合性を図り、以て全体として明瞭となるよう、設置の趣旨等を記載した書類の各該当箇所を修正・補記しました。

特に、(1)への対応としては、設置の趣旨等を記載した書類における「養成する人材像」に関して、説明箇所が明確になるように見出しを追記するとともに、説明内容についても全体的に修正・補記しました。(2)への対応としては、(1)で改めた「養成する人材像」の説明のなかで、「専門性を生かしたリーダーシップを持ち適切な状況判断によって臨床医学に貢献することができる人材を育成する」との目的を明示するとともに、ディプロマ・ポリシーにおいてもこの目的を明確化し、双方の整合性を図るために修正・補記しました。(3)への対応としては、3つのポリシー間の対応関係が明確になり、養成する人材像との整合性が図られるように、設置の趣旨等を記載した書類を修正・補記しました。さらに、(3)の修正等に基づき、カリキュラムツリー（資料1）、カリキュラムマップ（資料2）を全体的に修正しました。

新	旧
<p data-bbox="220 295 486 331"><b>(3) 養成する人材像</b></p> <p data-bbox="204 340 774 806">大学教育においては、単に専門知識や技能を教授するのみならず、同時に普遍的な教養と高い倫理観を備えることによって、学生の人間性を高める役割がある。特に、医療に携わる専門家としての臨床検査技師に対しては、医療人としての意識を持つことの重要性を十分に認識させる必要がある。そのためには、普遍的な教養を身に付け、医療従事者としての強い責任感と高い倫理観を持つ人材を育成することが重要である。</p> <p data-bbox="204 869 774 1377">現代の医療は個別の職種や個人で担うべきものは少なく、様々な医療職が協働して行うチーム医療が中心となってきている。臨床検査技師としての専門性を持ちながら、他の医療職との情報交換を適切に行うことが、最善の医療の提供という根本的な目的にかなう道である。そのために、臨床検査学の専門的知識・技能・態度を修得し、医療の遂行にあたって専門性を生かしたリーダーシップを持ち適切な状況判断によって臨床医学に貢献することができる人材を育成する。</p> <p data-bbox="204 1395 774 1713">さらに、医療におけるコミュニケーション能力に優れ、臨床検査の意義や特徴、得られたデータを患者や医療人に適切に説明・相談できる技能を有し、診療支援として患者の病態や検査データを解析し、治療に直結する重要な知見を提示できる能力を持つ人材を育成する。</p> <p data-bbox="204 1731 774 1993">常に進歩し更新されていく医学・医療についての認識を持ち、最新の医学知識や医療情報を学び続けていくことは医療人として欠かすことのできないことである。臨床検査技師として、科学的探究心を備え、臨床検査学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・</p>	<p data-bbox="821 340 1391 851">大学教育においては、単に専門知識や技能を教授するのみならず、同時に高い倫理観と幅広い教養を身につけることによって、学生の人間性を高める役割がある。特に、医療に携わる専門家としての臨床検査技師に対しては、医療人としての意識を持つことの重要性を十分に認識させる必要がある。患者や、広くは社会全体のために奉仕する、ということを実感し、臨床検査を基礎として積極的に社会貢献できる豊かな人間性を備えた人材を育成する。</p> <p data-bbox="821 869 1391 1377">現代の医療は個別の職種や個人で担うべきものは少なく、様々な医療職が共同して行うチーム医療が中心となってきている。臨床検査技師としての専門性を持ちながら、他の医療職との情報交換を適切に行うことが、最善の医療の提供という根本的な目的にかなう道であることを身につけてもらう。したがって、医療におけるコミュニケーション能力に優れ、臨床検査の意義や特徴、得られたデータを患者や医療人に適切に説明・相談できる技能を有する臨床検査技師の養成を目指す。</p> <p data-bbox="821 1395 1391 1523">さらに診療支援として患者の病態や検査データを解析し、治療に直結する重要な知見を提示できる能力を育成する。</p> <p data-bbox="821 1731 1391 1993">常に進歩し更新されていく医学・医療についての認識を持ち、最新の医学知識や医療情報を学び続けていくことは医療人として欠かすことのできないことである。また、様々な疾患において病因・病態の解明が進み、患者個々の病態に合わせて疾患の原因となってい</p>

<p>評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる人材を育成する。そして、地域・医療福祉への貢献のため、臨床検査技師として医療福祉連携の重要性を理解し、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる人材を育成する。</p>	<p>る異常に対する対処法・治療法が提案される時代になっている。臨床検査学は個々の異常を解析し治療法を決定する個別化医療においては最も重要な情報を提供する役割を担っている。これらの情報を的確に整理し提示できる高度な技術と判断力を持つ人材育成が求められる。さらに、臨床研究にも自ら積極的に関わることで、医学・医療の発展に貢献できる臨床検査技師の育成を目指す。</p>
---	--

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (13 ページ)

新	旧
<p><b>(4) 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</b> 医療技術に関する高度な知識と技術を身に付け、チーム医療のなかで医療技術の専門家としての役割を果たすのにふさわしい高い倫理観と教養、問題解決力とリーダーシップ、コミュニケーション能力を持ち、人々の健康で自立した生活を支援し、地域社会に貢献できる医療技術者を育成する本学の課程において、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士」の学位を授与する。</p> <p>医療技術学部臨床検査学科 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p> <p>① 責任感と倫理感 普遍的な教養を身に付け、医療従事者としての強い責任感と高い倫理観を持つことができる。</p> <p>② プロフェッショナリズム・リーダーシップと判断力 臨床検査学の専門的知識・技能・態度を修得し、医療の遂行にあたって専門性を生かしたリーダーシップを持ち、適切な状況判断によって臨床医学に貢献することができる。</p> <p>③ コミュニケーション能力 患者とその関係者、医療チームのメンバーを</p>	<p><b>(3) 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</b> 医療技術に関する高度な知識と技術を身に付け、チーム医療のなかで医療技術の専門家としての役割を果たすのにふさわしい高い倫理観と教養、コミュニケーション力を持ち、人々の健康で自立した生活を支援し、地域社会に貢献できる医療技術者を育成する本学の課程において、卒業要件として定めた単位を修得し、以下の資質・能力を備えた者に「学士」の学位を授与する。</p> <p>医療技術学部臨床検査学科 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p> <p>① 責任感と倫理観 普遍的な教養を身に付け、医療従事者としての強い責任感と高い倫理観を持つことができる。</p> <p>② プロフェッショナリズム 臨床検査学の専門的知識・技能・態度を修得し、臨床医学に貢献することができる。</p> <p>③ コミュニケーション力 患者とその関係者、医療チームのメンバーを</p>

(5)

<p>尊重し、臨床検査技師として医療を担うための確かな情報交換ができる。</p> <p>④ 問題発見・解決力</p> <p>科学的探究心を備え、臨床検査学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。</p> <p>⑤ 地域・医療福祉への貢献力</p> <p>医療福祉連携の重要性を理解し、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる。</p>	<p>尊重し、臨床検査技師として医療を担うための確かな情報交換ができる。</p> <p>④ 問題発見・解決力</p> <p>科学的探究心を備え、臨床検査学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決策を提示できる。</p> <p>⑤ 地域・医療福祉への貢献力</p> <p>医療福祉連携の重要性を理解し、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる。</p>
--	--

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (17 ページ)

新	旧
<p><b>2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</b></p> <p>本学の医療技術学部臨床検査学科の教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) は、以下のとおりである。</p> <p>医療技術学部臨床検査学科 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</p> <p>医療技術学部臨床検査学科では、学位授与の方針を達成するため、下記の基本的な考え方に基づいてカリキュラムを編成する。</p> <p>① 普遍的な教養と高い倫理観を涵養するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験で評価する。</p> <p>② 臨床検査技師に求められるプロフェッショナルとしての知識と技術を修得し、医療における専門の立場からのリーダーシップを発揮し適切に状況を判断するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験、実地試験、臨床実習評価報告で評価する。</p> <p>③ チーム医療に必要な協調性と患者及びその関係者、医療スタッフとのコミュニケーション能力を持ち信頼関係を構築できる能力を</p>	<p><b>2. 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</b></p> <p>本学の医療技術学部臨床検査学科の教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) は、以下のとおりである。</p> <p>医療技術学部臨床検査学科 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)</p> <p>医療技術学部臨床検査学科では、学位授与の方針を達成するため、下記の基本的な考え方に基づいてカリキュラムを編成する。</p> <p>① 普遍的な教養と高い責任感と倫理観を涵養するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験で評価する。</p> <p>② 臨床検査技師に求められる専門的知識と技術、態度を修得するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験、実地試験、臨床実習評価報告で評価する。</p> <p>③ チーム医療に必要な協調性と患者及びその関係者、医療スタッフとのコミュニケーション能力をもち信頼関係を構築できる能力を</p>

(6)

<p>涵養するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験、実地試験、口頭試験、レポートで評価する。</p> <p>④ 臨床検査学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決できる能力を涵養するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験、実地試験、臨床実習評価報告で評価する。</p> <p>⑤ 多様性のある社会に対応し、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる能力を涵養するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験で評価する。</p>	<p>滋養するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験、実地試験で評価する。</p> <p>④ 臨床検査学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決できる能力を滋養するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験、実地試験、臨床実習評価報告で評価する。</p> <p>⑤ 多様性のある社会に対応し、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる能力を涵養するためのカリキュラムを編成し、成果は科目試験で評価する。</p>
---	---

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (33 ページ)

新	旧
<p><b>1. 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</b></p> <p>本学の医療技術学部臨床検査学科では、学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) を実現し、教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) に定めた教育を受けるにふさわしい入学者を選抜するため、以下のとおり、入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) を定め、これに適う入学者の選抜を行う。</p>	<p><b>1. 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</b></p> <p>本学の医療技術学部臨床検査学科では、学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) を実現し、教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) に定めた教育を受けるにふさわしい入学者を選抜するため、以下の通り、入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー) を定め、これに適う入学者の選抜を行う。</p>
<p>医療技術学部臨床検査学科 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</p> <p>医療技術学部臨床検査学科は、高等学校各教科・科目全般について履修し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を有する学生を求める。</p> <p>特に、次のような資質を身に付けておくことを望む。</p> <p>① 生命の尊厳と医学における倫理観を理解し、医療に携わりたいという意志を有する</p> <p>② 臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力</p>	<p>医療技術学部臨床検査学科 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)</p> <p>医療技術学部臨床検査学科は、高等学校各教科・科目全般について履修し、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有する学生を求める。</p> <p>特に、次のような資質を身に付けておくことを望む。</p> <p>① 生命の尊厳を理解し、医療に携わりたいという意志を有する</p> <p>② 臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力</p>

(7)

<p>を持ち、自ら学修しようという強い意志と向上心を有する</p> <p>③ 他者の意見を聞き、また自らの意見を他者に的確に説明することができる</p> <p>④ 問題解決にあたって、自ら主導的な役割を果たそうとする意欲を有する</p> <p>⑤ 臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する</p>	<p>を有する</p> <p>③ 他者の意見に耳を傾け、また、自らの意見を他者に的確に説明することができる</p> <p>④ 自ら学修しようという強い意志と向上心を有する</p> <p>⑤ 臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する</p>
<p>これらアドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーにおける①責任感と倫理感、②プロフェッショナリズム・リーダーシップと判断力、③コミュニケーション能力、④問題発見・解決力、⑤地域・医療福祉への貢献力を身に付けるために、それぞれ前提となる資質・意欲を求めるものである。また、ディプロマ・ポリシーと関連づけられているカリキュラム・ポリシー（①普遍的な教養と高い倫理観を涵養するための、②臨床検査技師に求められるプロフェッショナルとしての知識と技術を修得し、医療における専門の立場からのリーダーシップを発揮し適切に状況を判断するための、③チーム医療に必要な協調性と患者及びその関係者、医療スタッフとのコミュニケーション能力を持ち信頼関係を構築できる能力を涵養するための、④臨床検査学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決できる能力を涵養するための、⑤多様性のある社会に対応し、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる能力を涵養するための）に基づき編成された教育課程により学修する前提となる資質・能力を求めるものである。</p>	



2. 審査意見1のとおり、養成する人材像及び3つのポリシーの妥当性及び整合性に疑義があるため、教育課程の妥当性についても判断できない。このため、審査意見1への対応を踏まえて、本学部の教育課程が、適切なディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、修得すべき知識等に係る教育が網羅され、体系性が担保された上で、適切に編成されていることを明確に説明すること。

(1) ディプロマ・ポリシー①において「責任感と倫理観」を掲げており、これに対応するカリキュラム・ポリシー①において「①普遍的な教養と高い責任感と倫理観を涵養するためのカリキュラムを編成し」とあるが、カリキュラムマップを見ると、全て授業科目がディプロマ・ポリシー①の関連科目とされており、ディプロマ・ポリシー①及び関連するカリキュラム・ポリシー①の達成のために、必要な教育課程が適切に編成されているかが判然としない。

(2) ディプロマ・ポリシー⑤において掲げる「⑤地域・医療福祉への貢献力」に対応する教育課程として、必修科目が1年次前期に2科目、4年次に3科目設定されているものの、このような授業科目の配当年次の設定により「地域・医療福祉への貢献力」を体系的に養成する教育課程となっているか疑義があることから、掲げる資質・能力を修得するため、順序性に留意した体系的かつ効果的な配当年次の設定となっていることを明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(3) 養成する人材像やディプロマ・ポリシー③において「コミュニケーション力」を掲げており、「DP達成に特に重要な科目」として設定している「コミュニケーションの基礎」や「チーム医療（多職種連携）」において定期試験やレポートにより成績を評価することとしているものの、これらの成績評価方法によりディプロマ・ポリシーで掲げる「コミュニケーション力」の達成を評価できるかが判然としないことから、「コミュニケーション力」を養うという目的に照らし、その成績評価方法が妥当であることを説明するか、必要に応じて適切に改めること。

(対応)

審査意見2として「審査意見1への対応を踏まえて、本学部の教育課程が、適切なディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づき、修得すべき知識等に係る教育が網羅され、体系性が担保された上で、適切に編成されていることを明確に説明すること。」とのご指摘をいただきました。このことを受け、審査意見2に含まれる(1)～(3)の内容を踏まえ、明確化並びに整合性を図った「養成する人材像」及び3つのポリシーに基づき、修得すべき知識等に係る教育が網羅され、体系性が担保された上で、適切に編成されていることを明確化しました。具体的には、3つのポリシー間の関係性と対応する授業科目については、カリキュラムツリー(資料1)及びカリキュラムマップ(資料2)を修正しました。また、教育課程の妥当性について明らかにするために、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づき、設置の趣旨等を記載した書類の各該当箇所に具体的に修正・補記することで、全体として明瞭になるように適切

(9)

に改めました。

特に、(1)への対応としては、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーを、ポリシー間の関連性が明らかになるよう修正を加えました。そのうえで、ディプロマ・ポリシーの「責任感と倫理観」及び関連するカリキュラム・ポリシーを達成するために実施する授業科目を明確化し、カリキュラムマップ(資料2)を見直すとともに、設置の趣旨等を記載した書類の各該当箇所を修正しました。(2)への対応としては、「地域・医療福祉への貢献力」を体系的に養成する教育課程を明確化するために、1年次の科目でその意義を理解させ、関連した専門基礎分野科目及び専門科目において基礎的な能力を身に付け、臨地実習において医療現場を経験して修得できるように体系化して配置していることを明示し、設置の趣旨等を記載した書類に具体的に記載しました。(3)への対応としては、「コミュニケーション能力」を評価するために、臨床現場における対応の評価のために「臨地実習評価報告」を加え、医療現場において他の医療スタッフや患者・家族とのコミュニケーションの在り方について学修したことを、口頭試問及びレポート発表により評価することとしました。あわせて、シラバスの成績評価方法を見直しました(資料3～7)。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類(17～18ページ)

新	旧
<p>ディプロマ・ポリシーに掲げた「責任感と倫理観」は、カリキュラム・ポリシーにおいて、「普遍的な教養と高い倫理観を涵養するためのカリキュラムを編成」することと対応している。普遍的な教養は、基礎分野科目の修得によって身に付けさせるが、倫理観の醸成は、特に「生命倫理」、「社会心理学」、「法学」などを通じて知識として修得し、専門基礎科目の「解剖学実習」、「病理学実習」、「医学概論」、「チーム医療(多職種連携)」で浸透を図り、「臨地実習」で実践的に理解し修得することとしている。</p> <p>「プロフェッショナリズム・リーダーシップと判断力」は、主に「臨床検査技師に求められるプロフェッショナルとしての知識と技術を修得し、医療における専門の立場からのリーダーシップを発揮し適切に状況を判断するためのカリキュラムを編成」することで実現を図るが、この項目の達成には専門基礎分野科目と専門分野科目全般の修得が必要である。リーダーシップと判断力は、特に「チーム医療(多職種連携)」、「臨床病態学概論」、「臨床病態学Ⅰ・</p>	<p>ディプロマ・ポリシーに掲げた「責任感と倫理観」は、カリキュラム・ポリシーにおいて、「普遍的な教養と高い倫理観を滋養するためのカリキュラムを編成」すること、「プロフェッショナリズム」は主に「臨床検査技師に求められる知識と技術を修得するためのカリキュラムを編成」することで実現を図るが、この項目の達成にはすべてのカリキュラム・ポリシーが関連している。</p>

(10)

<p>Ⅱ」、「臨床病態学演習」、「臨床検査総合管理学Ⅰ、Ⅱ」、「臨床検査総合管理学演習」、「臨地実習事前実習」、「臨地実習」で修得させる。</p> <p>「コミュニケーション能力」は、「チーム医療に必要な協調性と患者及びその関係者、医療スタッフとのコミュニケーション能力を持ち、信頼関係を構築できる能力を涵養するためのカリキュラムを編成」することとし、「臨床検査学への誘い」、「チーム医療（多職種連携）」、「臨地実習事前実習」、「臨地実習」で修得し、評価には科目試験、実地試験に加え、臨床現場での対応の評価のために口頭試験、レポートを加えている。</p> <p>「問題発見・解決力」は、「臨床検査学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決できる能力を涵養するためのカリキュラムを編成」することで修得させる。具体的には、専門基礎分野の実習科目と専門分野の実習・演習科目である「臨床病態学実習」、「血液検査学実習Ⅰ・Ⅱ」、「病理検査学実習Ⅰ・Ⅱ」、「一般検査学実習Ⅰ・Ⅱ」、「医動物学実習Ⅰ・Ⅱ」、「臨床化学検査学実習Ⅰ・Ⅱ」、「免疫検査学実習Ⅰ・Ⅱ」、「遺伝子染色体検査学実習」、「輸血・移植検査学実習」、「微生物検査学実習Ⅰ・Ⅱ」、「生理機能検査学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「臨床検査総合管理学演習」、「医療安全管理学実習」、「臨地実習事前実習」、「臨地実習」、「卒業研究」で修得させる。</p> <p>「地域・医療福祉への貢献力」は「多様性のある社会に対応し、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる能力を涵養するためのカリキュラムを編成」することで修得させる。具体的には、1年次「臨床検査学への誘い」、「医学概論」、「チーム医療（多職種連携）」、「公衆衛生学」においてその意義を理解させ、専門基礎分野科目の「臨床検査の基礎とその疾病との関連」の各科目及び「病態学」、「血液学的検査」、「病理学的検査」において、地域・医療福</p>	<p>「コミュニケーション力」は「チーム医療に必要な協調性と患者及びその関係者、医療スタッフとのコミュニケーション能力をもち信頼関係を構築できる能力を涵養するためのカリキュラムを編成」すること、</p> <p>「問題発見・解決力」は「臨床検査学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決できる能力を涵養するためのカリキュラムを編成」すること、</p> <p>「地域・医療福祉への貢献力」は「多様性のある社会に対応し、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる能力を涵養するためのカリキュラムを編成」することと対応している。</p>
--	--

<p>社に貢献できる基礎的な能力を身に付ける。これら1～3年次科目で養った知識・技能を、「臨地実習事前実習」、「臨地実習」での経験によってその理解を強固なものとして修得する。</p> <p>これらのカリキュラム・ポリシーと関連する科目については、カリキュラムツリー（資料4-2（再））に詳細を示している。1年次では基礎分野科目と専門基礎分野科目、2年次では専門基礎分野科目と専門分野科目、3年次では専門分野科目、4年次では臨地実習と卒業研究を中心にして、段階的に学びながら進めるようにカリキュラムを編成している。</p>	<p>これらのカリキュラム・ポリシーと関連する科目についても（資料4-2（再））に詳細を示している。1年次では基礎分野科目と専門基礎分野科目、2年次では専門基礎分野科目と専門分野科目、3年次では専門分野科目、4年次では臨地実習と卒業研究を中心にして、段階的に学びながら進めるようにカリキュラムを編成している。</p>
--	--

3. アドミッション・ポリシーについて、関係する審査意見への対応を踏まえて、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシー、教育課程等との整合性を担保した上で、妥当なものであることを改めて明確に説明するとともに、必要に応じて適切に改めること。

(対応) 関係する審査意見を受けて、3つのポリシーを前述のとおり改めたことを踏まえ、教育課程等との整合性を担保した上で、妥当なものであることを明確にするために、設置の趣旨等を記載した書類を改めました。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (33 ページ)

新	旧
<p>これらアドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーにおける①責任感と倫理感、②プロフェッショナリズム・リーダーシップと判断力、③コミュニケーション能力、④問題発見・解決力、⑤地域・医療福祉への貢献力を身に付けるために、それぞれ前提となる資質・意欲を求めるものである。また、ディプロマ・ポリシーと関連づけられているカリキュラム・ポリシー(①普遍的な教養と高い倫理観を涵養するための、②臨床検査技師に求められるプロフェッショナルとしての知識と技術を修得し、医療における専門の立場からのリーダーシップを発揮し適切に状況を判断するための、③チーム医療に必要な協調性と患者及びその関係者、医療スタッフとのコミュニケーション能力を持ち信頼関係を構築できる能力を涵養するための、④臨床検査学に関わる諸問題を発見し、必要な情報を収集・評価して論理的思考をもとに解決できる能力を涵養するための、⑤多様性のある社会に対応し、地域における人々の疾病予防、健康・自立に貢献できる能力を涵養するための)に基づき編成された教育課程等により、学修する前提となる資質・能力を求めるものである。</p>	

4. 一般選抜試験の個別方式について「学力検査として英語のほか数学 I A または国語から 1 科目、理科（物理、化学、生物、「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎の 2 科目合計」から 1 科目選択）の 4 科目から 1 科目を課す方式」として実施するとの記載があるが、理科については「物理、化学、生物、「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎の 2 科目合計」から 1 科目選択」とあるため、「4 科目から 1 科目を課す」の「4 科目」がいずれの科目を意図しているものが不明確であり、入学者の能力を適切に判断できる内容となっているかが判断できない。一般選抜試験の個別方式の内容が明確になるよう適切に改めた上で、アドミッション・ポリシーと整合し、妥当であることを説明すること。

(対応) 一般選抜試験の個別方式の内容が明確になるよう適切に改めたうえで、選抜方法とアドミッション・ポリシーとの整合性及び妥当性について、設置の趣旨等を記載した書類における説明を改めました。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (34 ページ)

新	旧
<p><b>3. 受験資格、入学試験科目、選抜方法</b></p> <p><b>(1) 学校推薦型選抜試験</b></p> <p>学校推薦型選抜試験は、専願制にて実施する。本学が指定した高等学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として判定することとし、学部のアドミッション・ポリシーに基づき、調査書により基礎となる学力を評価し、面接を課すことにより、能力、適性、意欲、関心等を多面的かつ総合的に評価する。</p> <p><b>(2) 一般選抜試験</b></p> <p>一般選抜試験は、個別方式と大学入学共通テスト利用方式の 2 種類を設ける。</p> <p><b>1) 個別方式</b></p> <p>学力検査として英語は必修とし、数学 I A または国語から 1 科目を選択する。さらに、理科は物理、化学、生物の 3 科目から 1 科目を選択する。またはそれに代えて理科の基礎科目 (物理基礎, 化学基礎, 生物基</p>	<p><b>3. 受験資格、入学試験科目、選抜方法</b></p> <p><b>(1) 学校推薦型選抜試験</b></p> <p>学校推薦型選抜試験は、専願制にて実施する。本学が指定した高等学校長の推薦に基づき、調査書を主な資料として判定することとし、学部のアドミッション・ポリシーに基づき、調査書により基礎となる学力を評価し、面接を課すことにより、能力、適性、意欲、関心等を多面的かつ総合的に評価する。</p> <p><b>(2) 一般選抜試験</b></p> <p>一般選抜試験は、個別方式と大学入学共通テスト利用方式の 2 種類を設ける。</p> <p><b>1) 個別方式</b></p> <p>学力検査として英語のほか数学 I A または国語から 1 科目、理科（物理、化学、生物、「物理基礎, 化学基礎, 生物基礎の 2 科目合計」から 1 科目選択）の 4 科目から 1 科目を課す方式として、入学志願者の学</p>

<p>礎) 3科目から2科目選択での受験も可能である。理科基礎科目2科目の配点の合計は一般理科1科目の配点と同じに設定し、評価の平等化を図っている。このように、必修科目の英語、選択科目として数学Iまたは国語から1科目を、理科については物理、化学、生物のうちから1科目、または理科基礎科目2科目(3科目から2科目を選択が、2科目合計で一般理科の1科目に相当する配点とする)を課す方式として、入学志願者の学習能力を客観的に評価し判定することができるようにする。調査書により、アドミッション・ポリシー①～⑤に基づく、自ら学ぶ意欲や関心、適性等を適切に判断することとしている。アドミッション・ポリシーにおける「②臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力を持ち、自ら修学しようという強い意志と向上心を有する」の項目に関連して、基礎学力として、外国語(英語)、国語または数学、理科を入試の科目とする。</p>	<p>習能力を客観的に評価し判定することができるようにするとともに、調査書により、アドミッション・ポリシーに基づく、自ら学ぶ意欲や関心、適性等を適切に判断することとしている。</p>
---	---

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類 (35～36 ページ)

新	旧												
<p><b>(4) 選抜方法について(各入試区分と学力の3要素とのチェック表)</b></p> <p>表 8-1 に、各選抜区分における選抜方法と、評価項目のアドミッション・ポリシーの対応を示す。また、全ての入試区分において、アドミッション・ポリシーに基づき、学力の3要素「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度」を判定する(表 8-2)。</p> <p>表 8-1 アドミッション・ポリシーと入学者選抜における評価項目</p> <table border="1" data-bbox="199 1912 799 2007"> <tr> <th>選抜区分</th> <th>選抜方法</th> <th>評価項目(アドミッション・ポリシーとの対応)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	選抜区分	選抜方法	評価項目(アドミッション・ポリシーとの対応)				<p><b>(4) 選抜方法について(各入試区分と学力の3要素とのチェック表)</b></p> <p>全ての入試区分において、アドミッション・ポリシーに基づき、学力の3要素「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持ち多様な人々と協働して学ぶ態度」を判定する。</p> <p>表 8-1 アドミッション・ポリシーと入学者選抜における評価項目</p> <table border="1" data-bbox="825 1912 1425 2007"> <tr> <th>選抜方法</th> <th>選抜区分</th> <th>評価項目(アドミッション・ポリシーとの対応)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	選抜方法	選抜区分	評価項目(アドミッション・ポリシーとの対応)			
選抜区分	選抜方法	評価項目(アドミッション・ポリシーとの対応)											
選抜方法	選抜区分	評価項目(アドミッション・ポリシーとの対応)											

学校推薦型選抜	調査書 (志望理由書含む)	<p>①生命の尊厳と医学における倫理観を理解し、医療に携わりたいという意志を有する</p> <p>②臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力を持ち、自ら修学しようという強い意志と向上心を有する</p> <p>③他者の意見を聞き、また自らの意見を他者に的確に説明することができる</p> <p>④問題解決にあたって、自ら主導的な役割を果たそうとする意欲を有する</p> <p>⑤臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する</p>	調査書 (志望理由書含む)	学校推薦型選抜 一般選抜	<p>①生命の尊厳を理解し、医療に携わりたいという意志を有する</p> <p>②臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力を有する</p> <p>③他者の意見に耳を傾け、また、自らの意見を他者に的確に説明することができる</p> <p>④自ら学修しようという強い意志と向上心を有する</p> <p>⑤臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する</p>
	小論文	<p>①生命の尊厳と医学における倫理観を理解し、医療に携わりたいという意志を有する</p> <p>③他者の意見を聞き、また自らの意見を他者に的確に説明することができる</p> <p>④問題解決にあたって、自ら主導的な役割を果たそうとする意欲を有する</p> <p>⑤臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する</p>	小論文	学校推薦型選抜	<p>①生命の尊厳を理解し、医療に携わりたいという意志を有する</p> <p>③他者の意見に耳を傾け、また、自らの意見を他者に的確に説明することができる</p> <p>④自ら学修しようという強い意志と向上心を有する</p> <p>⑤臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する</p>



	面接試験	<p>①生命の尊厳と医学における倫理観を理解し、医療に携わりたいという意志を有する</p> <p>③他者の意見を聞き、また自らの意見を他者に的確に説明することができる</p> <p>④問題解決にあたって、自ら主導的な役割を果たそうとする意欲を有する</p> <p>⑤臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する</p>	面接試験	学校推薦型選抜	<p>①生命の尊厳を理解し、医療に携わりたいという意志を有する</p> <p>③他者の意見に耳を傾け、また、自らの意見を他者に的確に説明することができる</p> <p>④自ら学修しようという強い意志と向上心を有する</p> <p>⑤臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する</p>
一般選抜 (個別方式)	調査書 (志望理由書含む)	<p>①生命の尊厳と医学における倫理観を理解し、医療に携わりたいという意志を有する</p> <p>②臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力を持ち、自ら修学しようという強い意志と向上心を有する</p> <p>③他者の意見を聞き、また自らの意見を他者に的確に説明することができる</p> <p>④問題解決にあたって、自ら主導的な役割を果たそうとする意欲を有する</p> <p>⑤臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する</p>	個別学力試験	一般選抜 (個別方式)	<p>②臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力を有する</p>

	個別学力試験	②臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力を持ち、自ら修学しようという強い意志と向上心を有する			
一般選抜 (大学入学共通テスト利用方式)	調査書 (志望理由書含む)	①生命の尊厳と医学における倫理観を理解し、医療に携わりたいという意志を有する ②臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力を持ち、自ら修学しようという強い意志と向上心を有する ③他者の意見を聞き、また自らの意見を他者に的確に説明することができる ④問題解決にあたって、自ら主導的な役割を果たそうとする意欲を有する ⑤臨床検査学の知識や技能を用いて社会に貢献しようとする意欲を有する	大学入学共通テスト	一般選抜 (大学入学共通テスト利用方式)	②臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力を有する
	大学入学共通テスト	②臨床検査学を学ぶのに必要な基礎学力を持ち、自ら修学しようという強い意志と向上心を有する			

5. 本学の学則において、学校教育法施行規則第4条第1項第9号に規定する「寄宿舎に関する事項」について記載が見受けられないことから、適切に改めること。

(対応)

学則を改正し、寄宿舎に関する条文を追加して制定いたします。

(新旧対照表) 学則 (2 ページ)

新	旧
新潟薬科大学学則 制 定 平成3年3月20日 最新改正 令和5年4月1日	新潟薬科大学学則 制 定 平成3年3月20日 最新改正 令和5年4月1日
第1章 総則 < 省 略 >	第1章 総則 < 省 略 >
第2節 組織 < 省 略 >	第2節 組織 < 省 略 >
(事務部)	(事務部)
第11条 本学に事務部を置く。 2 事務部の組織及び事務分掌等については、 学校法人新潟科学技術学園事務組織規程(昭和 58年4月20日制定)の定めるところによる。	第11条 本学に事務部を置く。 2 事務部の組織及び事務分掌等については、 学校法人新潟科学技術学園事務組織規程(昭和 58年4月20日制定)の定めるところによる。
(寄宿舎)	
第11条の2 本学に寄宿舎を置くことができ る。 2 寄宿舎に関し必要な事項は、別に定める。 < 省 略 >	< 省 略 >
附 則 この学則は、令和5年4月1日から施行す る。 < 省 略 >	附 則 この学則は、令和5年4月1日から施行す る。 < 省 略 >

(改善事項) 医療技術学部 臨床検査学科

6. 申請書類について、用語の混同や誤字脱字等全般的に文章の不備が散見されるので、網羅的に確認を行った上で、適切に改めること。

(対応)

下記の新旧対照表のとおり、改善意見に基づき、必要な修正を行いました。

(新旧対照表)

事項	新	旧	補正理由
学科名	審査対象教員一覧 (タイトル) 医療技術学部臨床検査学科	審査対象教員一覧 (タイトル) 医療技術学部臨床検査技師学科	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため削除した。
職名	審査対象教員一覧 4.田嶋明彦 教授	審査対象教員一覧 4.田嶋明彦 准教授	審査意見 6 及び教員審査の結果への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
授業科目名	判定カード 14.千葉(平野)映奈	判定カード 14.千葉(平野)映奈 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 移植・細胞療法 臨床検査総合管理学演習	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため削除した。
教育組織の概要	基本計画書 助手 1人 (0)	基本計画書 助手 1人 (1)	審査意見 6 への対応に伴うもの。開設年度就任予定人数をご記載のため変更した。
設置の趣旨	設置等の趣旨(本文)-4-	設置等の趣旨(本文)-4- (下から3行目の記載) (資料1-4)	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため削除した。
	設置等の趣旨(本文)-6- 「第3期がん対策推進基本計画」のもと、患者本位のがん医療を実現するための施策と	設置等の趣旨(本文)-6- 「第3期がん対策推進基本計画」で、患者本位のがん医療を実現するための施策として	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。

(20)

して推進され…	推進され…	
設置等の趣旨（本文） -8,12,15,21,31- 修得	設置等の趣旨（本文） -8,12,15,20,30- 習得	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -12,15- …医療人に適う倫理観と豊かな人間性を持ち…	設置等の趣旨（本文） -12,15- …医療人に適う倫理観と豊かな人間性をもち…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -12,22,23,27,28- …身に付け…	設置等の趣旨（本文） -12,21,22,26,27- …身につけ…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -14- 臨床検査技師としての標準的な医療に貢献できる基本的な知識・技能を持ち…	設置等の趣旨（本文） -14- 臨床検査技師としての標準的な医療に貢献できる基本的な知識・技能をもち…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -14- …新興感染症のパンデミックが起きた場合…	設置等の趣旨（本文） -14- …新興感染症のパンデミックがおきた場合…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -16- また、本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び卒業要件を…	設置等の趣旨（本文） -15- また、本学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および卒業要件を…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -22- 臨床検査室及び衛生検査所に対する認証制度の重要性	設置等の趣旨（本文） -21- 臨床検査室および衛生検査所に対する認証制度の重要性	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -23- ③…そして検査研究の重要性を認識…	設置等の趣旨（本文） -22- ③…そして検査研究の重要さを認識…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -23- …としての倫理観と責任感を身に付け…	設置等の趣旨（本文） -22- …としての倫理と責任を修得し…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -23- 新潟県内 19 施設の実習施設の協力を得て…	設置等の趣旨（本文） -22- 新潟県内に 19 施設の実習施設の協力を得て…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -24- …学内での講義・実習及び臨地実習で修得した…	設置等の趣旨（本文） -23- …学内での講義・実習および臨地実習で修得した…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文） -24-	設置等の趣旨（本文） -23-	審査意見 6 への対応

…問題提起から研究テーマを見い出し…	…問題提起から研究テーマを見いだし…	に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-25- …解決する方法を見い出すプロセスが重要となる。	設置等の趣旨（本文）-24- …解決する方法を見いだすプロセスが重要となる。	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-26- アドバイザー教員は、学生が抱える問題の解決のために…	設置等の趣旨（本文）-25- アドバイザー教員は、学生の抱える問題の解決のために…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-26- まず、入学時及び各年次の開始時のオリエンテーションで…	設置等の趣旨（本文）-25- まず、入学時および各年次の開始時のオリエンテーションで…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-27- 授業内容を深く真に身に付けることを目的として CAP 制を導入し…	設置等の趣旨（本文）-26- 授業内容を深く真に身につけることを目的として、CAP 制を導入し…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-27- このことを、オリエンテーションで学生に周知させることに努める。	設置等の趣旨（本文）-26- このことは、オリエンテーションで学生に周知させることに努める。	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-28- また、これらの実習施設による最大受入人数の合計は…	設置等の趣旨（本文）-27- また、これらの病院による最大受入人数の合計は…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-28- 新潟薬科大学医療技術学部臨床検査学科病院等における実習等の誠実な履行ならびに個人情報等及び病院等の…	設置等の趣旨（本文）-27- 新潟薬科大学医療技術学部臨床検査学科病院等における実習等の誠実な履行ならびに個人情報等および病院等の…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-29- 2) 臨地実習指導者に確認・報告を行い、決して独断で行動しないこと。	設置等の趣旨（本文）-28- 2) 臨地実習指導者に確認・報告をし、決して独断で行動しないこと。	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-30- <b>5. 臨地実習水準確保の方策</b>	設置等の趣旨（本文）-29- <b>5. 臨床実習水準確保の方策</b>	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-30,33- …以下のとおり…	設置等の趣旨（本文）-29,32- …以下の通り…	審査意見 6 への対応に伴うもの。誤記載のため変更した。

設置等の趣旨（本文）-37- 筆答試験	設置等の趣旨（本文）-34- 筆頭試験	審査意見 6 への対応 に伴うもの。誤記載 のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-38- …解剖生理学に教育実績と業 績のある専任教員（教授及び 講師）…	設置等の趣旨（本文）-35- …解剖生理学に教育実績と業 績のある専任教員（教授およ び講師）…	審査意見 6 への対応 に伴うもの。誤記載 のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-39- 「病理学実習」では、病理学 が専門である専任の教員（准 教授）に加えて、基礎病理学 及び臨床病理学を専門とし…	設置等の趣旨（本文）-36- 「病理学実習」では、病理学 が専門である専任の教員（准 教授）に加えて、基礎病理学 および臨床病理学を専門とし …	審査意見 6 への対応 に伴うもの。誤記載 のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-42-	設置等の趣旨（本文）-39- （下から 6 行目の記載） （資料 10-5）	審査意見 6 への対応 に伴うもの。誤記載 のため削除した。
設置等の趣旨（本文）-43- 生理機能検査学実習Ⅰ、生理 機能検査学実習Ⅱ、生理機能 検査学実習Ⅲ等を開講する J 棟 2 階の J209 実習室及び J208 実習室は	設置等の趣旨（本文）-40- 生理機能検査学実習Ⅰ、生理 機能検査学実習Ⅱ、生理機能 検査学実習Ⅲ等を開講する J 棟 2 階の J209 実習室および J208 実習室は	審査意見 6 への対応 に伴うもの。誤記載 のため変更した。
設置等の趣旨（本文）-44- …課外活動等に活用する予定 である（資料 10-3,10-4,10- 6）。	設置等の趣旨（本文）-41- …課外活動等に活用する予定 である。（資料 10-3,10-4,10- 6）	審査意見 6 への対応 に伴うもの。誤記載 のため変更した。